

事務事業評価資料

施策名		青少年の健全育成の推進		所管部局課名	企画県民部県民文化局青少年課				
事業名		「子どもの冒険ひろば」事業の推進		担当者電話番号	育成事業係 078-362-3143				
事業目的		子どもが土・木・水等の自然素材を使い、自分の責任で自由にのびのびと遊べる「子どもの冒険ひろば」の地域ぐるみでの開設を推進し、子どものたくましく生きる力を育む。							
事業内容		「子どもの冒険ひろば」を運営する団体への運営費助成(補助期間：5年間、平成20年度以降年間160万円、但し最終年度は80万円、補助率：10/10) プレイター-の養成 情報誌の発行			事業開始年度	平成15年度			
事業に要するコスト	区分	平成20年度決算額		平成21年度当初予算額		平成22年度当初予算額			
	事業費	(31,448 千円) 31,448 千円		(23,220 千円) 23,220 千円		(7,844 千円) 7,844 千円			
	人件費	5,083 千円	従事人員 0.6人	5,016 千円	従事人員 0.6人	4,922 千円	従事人員 0.6人		
	総コスト(+)	36,531 千円	従事人員 0.6人	28,236 千円	従事人員 0.6人	12,766 千円	従事人員 0.6人		
事業の目標		「子どもの冒険ひろば」利用者35万人(H21~25)			[目標設定理由] H15~19の利用者(29万人)の20%増				
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		20年度実績	21年度見込み	22年度目標	達成率(%)		
		目標値	年度				H20	H21	H22
	「子どもの冒険ひろば」年間利用者数	累積35万人(H21~25) 単年度7万人	25年度	96,000人 (0.4 千円)	70,000人 (0.4 千円)	70,000人 (0.2 千円)	137.1%	100.0%	100.0%
評価結果	必要性	・子どものインターネット・ゲーム機の過度の利用や運動能力の低下等が懸念される中、子どもの生きる力を育むため、先導的な体験活動の場を提供することは必要である。							
	有効性	・利用者数は目標値をクリアし、地域に定着しつつある有効な事業である。 (参考：19年度約90,000人、18年度約69,000人)							
	効率性	・県が直接運営するのではなく、地域の実態を熟知し、子どもの遊びのノウハウを持つ青少年団体等の運営を県が支援する手法を取ることで、地域に密着した運営の実現を目指している。 ・また、段階的に運営費支援を削減するなど、コスト削減を図っており、効率的に事業実施をしている。							
	民間・市町との役割分担	・助成期間を立ち上げ時からの5年間とした先導的なモデル事業であるため、県の役割として実施している。 ・今後はモデル事業の成果を踏まえ、子どもの遊び場づくり活動を地域(市町・地域団体等)が支える気運の醸成等を進める。							
	受益と負担の適正化	・県が青少年団体、NPO等と協働して実施しているモデル事業であることから、県費で運営費助成等を行うことは適正である。							
実施方針	方向性	新規	拡充	継続	実施手法の見直し				
		廃止	縮小	統合	凍結(休止)	延長	終期設定		
	実施手法の見直し内容	市町移譲	民間移譲	民間委託	PFI	負担割合変更	事務改善	その他	
	説明	運営費補助によって支援を行ってきた子どもの冒険ひろばについては、今後、運営団体が抱える活動人材の不足や地域での認知度向上等の課題解決に向けて、先進的団体のノウハウやネットワークを活用した支援を展開する。							